

JAB25周年記念フォーラム



ご挨拶

2018年3月9日

公益財団法人 日本適合性認定協会

理事長 飯塚 悦功

JAB25周年記念フォーラム

□ JAB

- 1993年11月1日設立
- 品質マネジメントシステムの認証制度の国際的普及への対応

□ それから25年

- バブル経済崩壊： 経済高度成長期⇒成熟経済社会
- 安定成長(低成長)： GDP≒500兆円，
日本の経済力 世界20～30位？
- 成長戦略： GDP600兆円
- 標準化・第三者適合性評価戦略

□ 第三者適合性評価におけるJAB

- 適合性評価機関の能力保証，制度の健全な発展・価値向上
- 制度の社会的意義の再認識，JABの使命の再確認

適合性評価制度とは何か

- 適合性評価制度＝優れものを選択しておく社会制度
適合性評価制度＝基準＋評価

- 基準： **適合性評価基準**
 - 基準制定分野の**重要性**の認識拡大
 - 妥当な基準の普及，合意形成（標準化）の促進

- 評価①： **能力証明**（基準への適合の公式の証明）
 - 顧客・社会： 評価対象の**選択**の質と効率の向上
 - 評価対象： 基準適合・能力保有の訴求

- 評価②： **能力向上**（評価プロセスを通じた能力向上）
 - 評価対象： 評価対象のレベル・能力向上
 - 社会： **社会**のレベルアップ（安全・安心，質的向上，効率向上），産業競争力向上

社会に有用な適合性評価の条件

- 評価基準の妥当性
 - 評価対象分野に対する**社会ニーズ**
 - 基準の**Scopeとレベル**の適切性
- 基準適合行動の適切性
 - 適合性証明取得希望者(組織, 製品等)による**基準の意図**の理解
 - 基準に適合する評価対象の**実現**
- 評価プロセスの適切性
 - 評価計画, 評価方法, 評価者の適切性
 - 適合性証明の授与・維持の判断の適切性
- 評価結果活用の適切性
 - 評価対象の証明された「能力」の活用(**選択の質と効率**の向上)
 - 適合性評価で保証される「能力」の適切な**訴求**

国際標準化の社会学

□ 標準・適合性評価の基本的性格

- 標準：①良いものの強制・推奨, ②良いものの共有
- 適合性評価：①公式の評価・能力証明, ②能力向上

□ 国際標準化・適合性評価制度の社会学

- 基準・指針 守る必要がある
良いもの・良い方法を**知る**ことができる
- 適合性評価 必要な評価を専門家に**委任**ができる
評価基準・結果を**受入れる**必要がある
挑戦・評価の過程で**実力がつく**
- 競争 評価基準によって**相対的強さは変わる**
- 国際化 受け入れか, **日本流の普及**か
- 戦略的活用 実力の**正当な評価**を促す
実力不足を**基準・制度**で補う

グループ間競争（競争と協力）

□ グループ内競争

→ **利己的**な方が有利

- 自分が知った“良いこと”は他人に教えない
- 他人を出し抜く, 他人にできないことをする

□ グループ間競争

→ **協力的グループ**の方が有利

- 自グループのためになるルール・知識を共有する
- 自グループに好都合のルールを他グループも適用するように説得・誘導する

□ 規格・標準重視社会の強み

- 統一（混乱回避, 最適解）, 共有（知識の再利用, 社会的学習）, **インフラ整備**（有用なもの・コトの入手容易性）
- 取引活性化, **低コスト社会**, 低い起業障壁

一流の先生方の講演を通して
標準化と第三者適合性評価の活用による
わが国の産業競争力と
より良い社会の実現
に向けての取り組みについて
考察を深めていただければ幸いです

どうか、お楽しみください。